

「心得」とは、「いつも心がけておくこと」という意味です。この心得は、児童の皆さんが安心・安全で気持ちのよい学校生活を送り、よりよく成長していくための行動や態度について整理したものです。一人ひとりが児童心得を意識して生活しましょう。

1 気持ちよく過ごすために

- (1) 相手の目を見て、はっきりとした声であいさつをしましょう。
「おはようございます。」「こんにちは。」「さようなら。」「お願いします。」など、自分も相手も気持ちよくなるようなあいさつを心がけましょう。また、自分から進んで言いましょう。
- (2) その場に合った言葉づかいをしましょう。
話す相手や場所に合わせて、正しい言葉づかいをしましょう。また、かげ口や人を傷つけるような言葉、自分が言われていやな言葉をつかいません。
- (3) 集合する時は静かに早く行動し、廊下や階段は静かに歩きましょう。
学校はみんなで生活する場所であることを意識して生活しましょう。
- (4) 用のない特別教室には入りません。
- (5) 職員室やほかの教室に入・退室するときは、あいさつをして用事を言いましょう。
入室するとき＝「失礼します。○年生の□□です。△△先生に用があって来ました。」
「失礼します。○年生の□□です。名札を買いに来ました。」など
退室するとき＝「失礼しました。」
- (6) 時計をよく見て、時間を守って行動しましょう。
時間を知らせるチャイムは鳴りません。時刻を確認して、間に合うように行動しましょう。
- (7) 校内放送がかかったら、動きをとめて静かに聞きましょう。

2 登校・下校について

- (1) 決められた通学路を通して登下校をしましょう。
- (2) 8時までに登校して、学習の準備をしましょう。
学習の準備は素早く終わらせて、8時10分から朝の会ができるようにしましょう。
- (3) バスの運転手さんにあいさつをしましょう。
(登校時)乗るとき＝「おはようございます。お願いします。」
降りるとき＝「ありがとうございました。」
(下校時)乗るとき＝「お願いします。」
降りるとき＝「ありがとうございました。明日もお願いします。」
- (4) バスの中では、自分の席に座って静かに過ごしましょう。

バスはみんなで乗るものです。周りの人も過ごしやすい空間にするためにも、静かに乗りましょう。また、ケガや事故をしないように、席を移動しません。
- (5) 欠席や遅刻をする場合は、登校班の班長と学校に連絡をしましょう。
- (6) 下校後、忘れ物を取りに来たときは、職員室の先生に言ってから教室に行きましょう。

3 服装・身だしなみについて

- (1) 学校内外の学習活動及び登下校時は、その場面に合った服装をします。学習活動のときに、以下のもの以外の服装になる場合は、先生の指示に従います。

① 登下校時…決められた服装で登校します。

・基準服 紺色襟なしダブルの上着・紺色の半ズボンまたは紺色の吊りスカート・白いポロシャツ。スカートの下には、体操服用のハーフパンツをはいてもよいです。

・通学帽子 黄色の野球帽型安全帽子または黄色の登山型安全帽子をかぶります。

・靴下 全体が白色で、くるぶしの上からひざ下までの丈のものをはきましょう。足裏の色が黒いものやワンポイントがあるものでもよいです。

・通学用靴 運動しやすいもので、白を基調としたものをはきましょう。くつやシューズは、かかとを踏まずにはきましょう。

・上履き 校内用・体育館シューズ用（白色）2足を使い分けてはきましょう。

・名札 上着には名札を付けます。体操服の時は付けなくてよいです。

名札は学校で販売しています。

・防寒 気温や体調に合わせて、汚れても目立たない色（黒色か紺色）のベストかセーターを

上着の下に着用してもよいです。また、登下校時に手袋・マフラー・防寒用上着を着用してもよいです。ただし、校舎に入ったら

取りましょう。

② 体育等の学習時

・体操服 白い体操シャツ(布ネームを付ける)、紺色のハーフパンツ、赤白帽子を身につけます。

・水着 黒・紺色のパンツ型、黒・紺色のワンピース型(フリルなし)。

ラッシュガード(記名した布を付けます。)を着用します。

黄色い水泳帽子(額の部分に大きく記名します。)をかぶります。

(2) 頭髪は、学習や運動に適した清潔かつ自然な髪や長さにします。

4 持ち物について

(1) 学校生活に必要なものは持ってきません。

(2) 持ち物には名前を書きましょう。

(3) 必要なお金は持ってきません。

特別な理由がある場合は、担任の先生に相談しましょう。持ってきたときは、登校後、すぐに担任の先生に預けます。

(4) 学校で物を借りたときは、借りた人が返すようにしましょう。

(5) ランドセル、かばん等には、熊よけ鈴・お守り以外のキーホルダーは付けません。

(6) 学習の道具は以下の物を持って来ましょう。

①鉛筆…2B、B、HB のものを5本(前日に削っておく)

②消しゴム…色やデザインがシンプルで、消しやすいもの

③ものさし…目盛りの読みやすいもの

④赤青鉛筆…1本

⑤下じき…シンプルなデザインのもの

⑥赤青ボールペン、蛍光ペン(4年生から使えます。)…各1本

(7) 学校の物をわざと壊したりふざけていて壊したりしたときは、弁償します。

5 学習について

(1) 学校生活の基本は勉強です。集中して取り組みましょう。

(2) 授業が始まるまでに、机の上に必要なものを準備しておきましょう。

(3) 授業開始時間に授業を始められるように、時間をよく見て準備をしておきましょう。

(4) 授業の始めと終わりには、姿勢を正し、はっきりとした声であいさつをしましょう。

○始め「立腰」(姿勢を正す)→「これから□□の勉強を始めます。」→返事「はい。」→礼「おねがいします。」

○終わり「立腰」(姿勢を正す)→「これで□□の勉強を終わります。」→返事「はい。」→礼「ありがとうございました。」

(5) 授業中は、必要のないおしゃべりはせず、分からないことは積極的に聞きましょう。

(6) 宿題は、毎日やって出しましょう。忘れたりやっていなかったりした場合は、正直に言いましょう。

6 欠席・遅刻・早退などについて

(1) 学校を欠席・遅刻・早退するときは、必ず家の人に8時までに学校と登校班の班長に連絡してもらおう。(TEL435-2341 またはポータルサイト)

(2) 遅刻して学校に来た場合は、担任の先生または他の先生に、学校に来たことを伝えましょう。

(3) 早退するときは、必ず担任の先生に伝えてから帰りましょう。

(4) 原則、学校に来たら学校の外には出ません。

7 学校外での生活について

(1) 友達同士で物の交換をしないようにしましょう。

(2) 友達同士で物をおごったりおごられたりしないようにしましょう。

(3) 遊びにでるときなどは、家の人に行き先や帰る時刻を伝えて出かけます。

(4) 危ない遊びや人にめいわくになることはしません。

(5) 子どもだけで校区外へ行かないようにしましょう。

(6) 大人が留守の家の中では遊びません。

(7) 子どもたちだけでどこかに泊まったり、夜中に歩き回ったりしないようにしましょう。

(8) 子どもどもだけで川や池で泳いだり、釣りをしたりしないようにしましょう。

(9) 知らない人の車に近づいたり乗せてもらったり、知らない人について行ったりしません。

(10) 自転車は、ルールを守って乗りましょう。

①交通ルールを守りましょう。

②自転車保険に加入しておきましょう。

③自転車に乗るときは、必ずヘルメットをかぶりましょう。

④横断歩道は、自転車を押してわたりましょう。

⑤2年生以下の方は、道路で自転車に乗らないようにしましょう。

⑥3年生以上の方は、国道では自転車に乗らないようにしましょう。

8 困ったとき

困ったことがあったら担任の先生、保健室の先生などの話しやすい先生に相談しましょう。また、スクールカウンセラーの先生に相談することもできます。

9 その他

- (1) 以上のことについて、学校生活を送るのに支障がある場合は、事前に申し出て学校長の承認を得ることにより、特別に許可をする場合があります。
- (2) その他分からないことは、自分で勝手に判断せず、先生に相談しましょう